



前号のおさらい：金のボリンジャーバンド

発行日：2014/1/17



前回12月27日発行のテクニカル分析において、「東京金は昨年7月以降は下値を4000円として三角保合となっている。このままなら年初にはどちらかに抜けそうで、上抜けた場合は、雲のある4300円～4400円、9月高値の4532円が目標となる。」とした。年初にトレンドラインを突破し始まったが上昇の力は弱い。これはNY金がトレンドラインに抑えられたままであるため、NYも上方向に抜けられない限りは本格的な上昇とはなりづらいだろう。

TOPICSs 一目均衡表とトレンドライン

今回は前回週足で見た一目均衡表とトレンドラインについて、日足で細かく分析してみたい。

一目均衡表は5本の線を用いたチャートを使い、それぞれ転換線・基準線・先行スパン1・先行スパン2・運行スパンと呼ばれる線があり、すべての線が支持線・抵抗線となる。トレンドがあるときはそれぞれの線が押し目(戻し)の限界点を示す。

今回はそれに加えて、価格が大勢として上昇方向にあるのか、下降方向にあるのか、または、横ばいなのかを見分けるため、トレンドラインも引いていく。

トレンドラインはサポート・レジスタンスの水準を示しており、上昇トレンドラインではサポート水準を、下降トレンドラインではレジスタンス水準を示している。上昇トレンドラインを割り込んで価格が下落すると上昇トレンドの終息、又は上昇力の低下を示し、下降トレンドラインを割り込んで価格が上昇すると下降トレンドの終息、又は下降の勢いの低下を示している。

TOPICS 金市場を一目均衡表とトレンドラインで見てみよう

NY金はトレンドラインの攻防へ

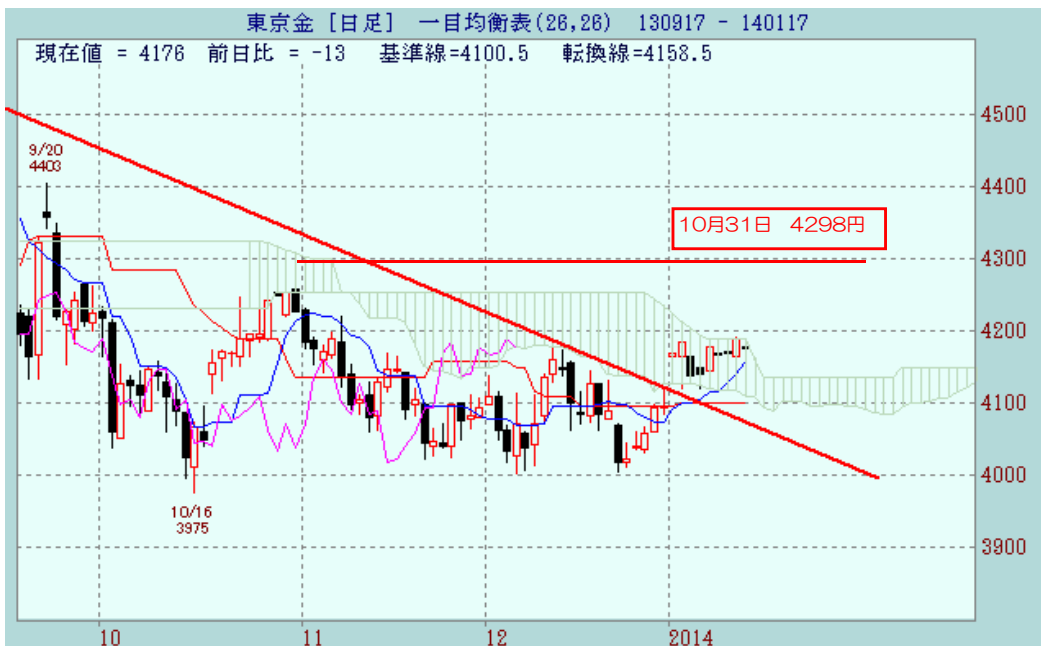


NY金

NY金は転換線が基準線を上回り、下降圧力が低下している。今週は雲の下限に迫ったが一旦跳ね返されている。

赤のトレンドラインは週足の強いトレンドラインを日足で示したもので、このトレンドラインを突破しない限りは本格的な上昇とはならないだろう。トレンドラインは来週1265~1250ドルに下がってきており、跳ね返されるようだとまた下落が始まる可能性がある。

東京金は雲の上限を抜けるか



東京金

東京金は長期のトレンドラインを上抜けたが、今週は雲の上限に押さえられて推移した。雲の上限が今日の夜間取引から下がるためこのままいくと雲の上に価格が出てくる。また転換線も上昇しており雲の上限を突破するようだと上昇へ弾みが付く可能性がある。上値の目標は10月31日高値の4298円。

TOPICSs 他市場はどうか

東京白金はトレンドラインを突破



東京白金

東京白金は前回長期で三角保合になっていると指摘したがその上辺を上げ、さらに続伸する可能性がある。NY白金も雲と転換線が雲を抜けここから一段高となる可能性があるだけに、基準線付近または、トレンドラインのあたりまで下落した場合には押し目買いで対処したい。

なお目先の上値目標は、9月4日高値の4956円。

NY原油は上昇トレンドラインを割り込む



NY原油

NY原油は何度も抵抗となっている100ドルを突破できずに下落してきた。長期のトレンドラインを一時下げたが再びトレンドラインの上川に戻ってきている。ただし転換線が下向きでトレンドラインに触れていることから再度下落しトレンドラインを下抜けする可能性は残っている。

下落した場合の目標値は昨年4月18日の85.61ドル。またトレンドラインを抜けない場合は93~100ドルのレンジ取引となる。

ドル円は揉み合いへ

ドル円



ドル円は一時基準線も下抜けたが、すぐに基準線の上まで回復した。転換線と基準線が近づいており、このまま絡み合ってしまうとしばらくは方向感のない相場展開となりそうだ。

今後の予想

今週は日足の一目均衡表とトレンドラインを使い前回の分析をさらに細かく分析し直した。

NY金は下落トレンドラインに抑えられており、上昇するためには下落が止まるためには昨年から続く抵抗線を抜けることが必要となるが、トレンドラインは一目均衡表の雲のなかにあり、一気に上抜けていくことは難しいだろう。抜けれない場合は再び1200ドル割れを伺う展開となる。

東京金は下落トレンドラインを突破したが上昇の勢いが無い。雲を抜けそうな位置に価格があるのでさらに上伸する可能性はあるが、NYの値動き次第といった様相だ。

東京白金は三角保を上抜けし、さらに続伸する可能性がある。押し目は確実に拾っていききたい。

NY原油は一時支持線を割り込み下落圧力が高まっている。一旦反発しているものの再度下落する可能性が高い。

ドル円は転換線と基準線が接近しており、しばらく揉み合いとなりそうだ。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

発行元：株式会社コモディティー インテリジェンス
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310
会社電話： 03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
メールアドレス： kondo@commi.cc